

長寿科学振興財団若手研究助成制度 研究計画書

作成日： 年 月 日

代表研究者	(自署)				
会員番号		入会日			
所属機関					
職					
所属機関 住所	〒 —				
電話番号					
e-mail					
推薦者	(自署)				
推薦者 所属機関・職					
研究課題名					
研究経費 (千円未満 は切り捨て)	研究経費 (千円)	使用内訳 (千円)			
		設備備品	消耗品	旅費	人件費・謝金 その他

添付書類：倫理研修受講証明書（倫理研修の主催者は問いません）

注 1) 西暦表記

注 2) 所属：大学の講座名、病院の診療科名、研究施設の研究室名などまで記載

注 3) 人件費・謝金・交通費は、本会 業務に係わる旅費等支給規則、講演謝礼等に関する規則および研究助成事業 対象経費および支出内訳基準規則に従う。

研究組織（代表研究者、共同研究者）

	氏名 (申請時年齢)	所属機関 職	専門分野	学位	役割分担
代表研究者					
共同研究者					
合計	名				

注1) 所属：大学の講座名、病院の診療科名、研究施設の研究室名などまで記載

注2) 共同研究者の欄は適宜追加可

1 研究目的、研究方法など

本研究の目的と方法などについて記述すること。

冒頭はその概要を簡潔にまとめて記述し、本文には、(1)本研究の学術的背景、研究課題の核心をなす学術的「問い」、(2)本研究の目的および学術的独自性と創造性、(3)本研究の着想に至った経緯や、関連する国内外の研究動向と本研究の位置づけ、(4)本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか、(5)本研究の目的を達成するための準備状況、について具体的かつ明確に記述すること。

(概要)

(本文)

2 応募者の研究遂行能力および研究環境

応募者（研究代表者、研究分担者）の研究計画の実行可能性を示すため、(1)これまでの研究活動、(2)研究環境（研究遂行に必要な研究施設・設備・研究資料等を含む）について記述すること。

「(1)これまでの研究活動」の記述には、研究計画に関連した国際的な取組（国際共同研究の実施歴や海外機関での研究歴等）がある場合には必要に応じてその内容を含めること。また、研究活動を中断していた期間がある場合にはその説明などを含めてもよい。

3 人権の保護及び法令等の遵守への対応

本研究を遂行するに当たって、相手方の同意・協力を必要とする研究、個人情報の取扱いの配慮を必要とする研究、生命倫理・安全対策に対する取組を必要とする研究など指針・法令等（国際共同研究を行う国・地域の指針・法令等を含む）に基づく手続が必要な研究が含まれている場合、講じる対策と措置を記述すること。

個人情報を伴うアンケート調査・インタビュー調査・行動調査（個人履歴・映像を含む）、提供を受けた試料の使用、ヒト遺伝子解析研究、遺伝子組換え実験、動物実験など、研究機関内外の倫理委員会等における承認手続が必要となる調査・研究・実験などが対象となる。該当しない場合には、その旨記述すること。